

第105回 JSETを振り返って

- 発表の経緯

GSISのコンピテンシー11,12を達成し、学んだことを実践するためにTDMコンサルティング株式会社を設立。

- 発表の内容:PMP®講座をSCCを実装したeラーニング

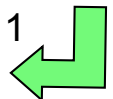
講座概要、講座イメージ、実施結果(学習日数・模擬試験結果)、今後の課題

- コンテンツグローバル配信の問題点

グローバル化への改善、問題点(形成的評価。ビジネス)

- 発表の振り返り

発表の準備や座長経験について



GSIS コンピテンシー

TDM コンサルティング 株式会社の設立

- 11. 実践から得られた成果を学会や業界団体等を通じて普及し、社会に貢献できる。
- 12. 教授システム学専攻の同窓生として、専門性を生かして専攻の発展・向上に寄与できる

(資料) <http://www.tdmc.co.jp/>



TDMコンサルティング

■企業理念

私たちは人々の成長を支援することで、社会に貢献します！

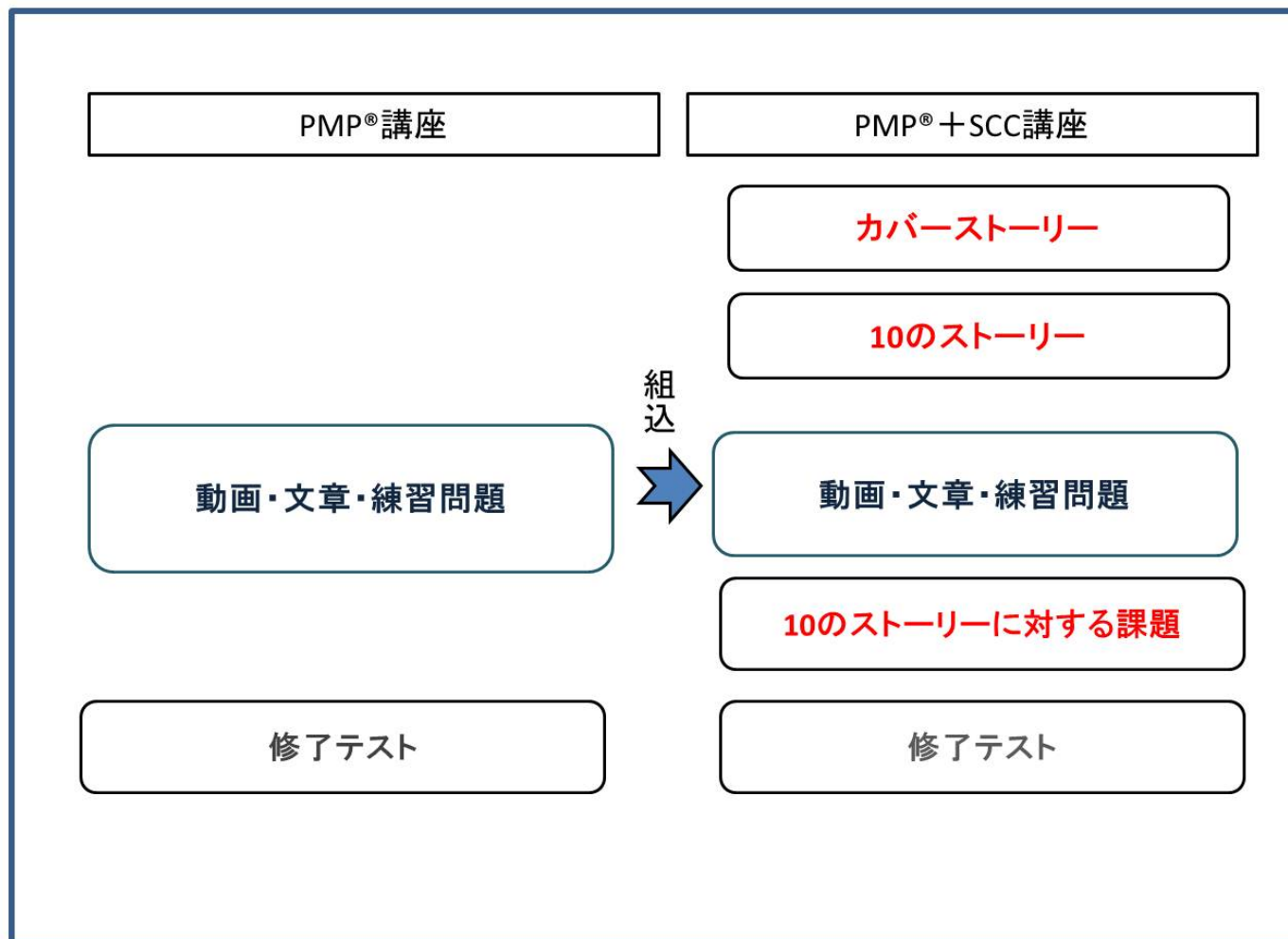
■ビジョン

効果的、効率的、魅力的な学習環境を提供する。

<http://www.tdmc.co.jp/>



講座概要



講座イメージ

プロジェクトマネジメント講座 序論

プロジェクトマネジメント ▶ pm1

トピックアウトライン

プロジェクトマネジメント講座

- ニュースフォーラム
- 序論の学習について
- 業務の指示
- 業務の整理



20XX 年 2 月 8 日 一週間後

ラップ建設の川崎社長の号令で、2010 年度海の家建設計画が承認された。川崎の意図で、

「これから新しいタイプの海の家を建設するため、今までの企業枠にハマった社員は、プロジェクトに関わるな!」という指示があったため、各部署から集められたメンバーは、どの者も、一癖あるタイプばかりだった。

川崎は、プロジェクトに関わる者を集め、以下のように檄を飛ばした。

「うちの会社は、このような社会状況で、受注も減り、業績が低迷しているのは、みんなも知っているだろう。このような最悪の状況を打開するために、今までのうちの技術力を活かしつつ、海の家建設という新しい領域に着手する。今まで担当の高際取締役には、いろんな市場調査をやってもらっていた。どうも高際の報告書(高際の報告書は、机上の空論に近いものがあり、最終的に数字合わせで完成したものであるため、現場思考ではなかった)から推察する限り、海の家建設に対して、十分な利益が取れるようだ。そこで、PM のプロである中田君を招聘した。中田君を中心に、今回の案件をプロジェクトとして具体的にやってもらいたい。」

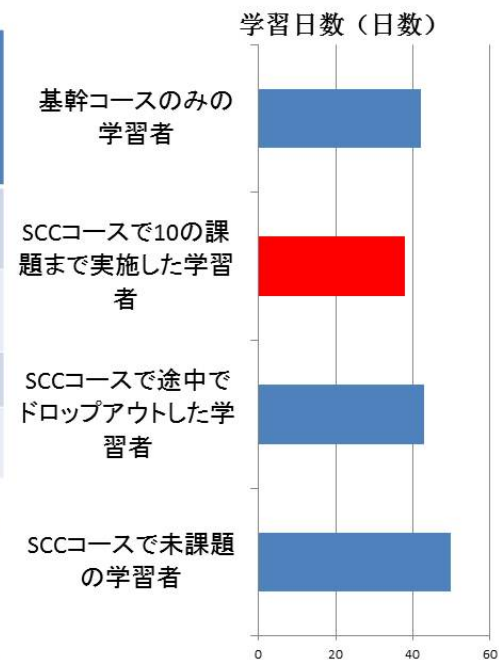


実施結果1 学習日数

実地テスト5 結果 学習日数

1 SCCコースの学習者の学習日数

3カ月でコースを 修了した学習者	人数	平均学習 日数	標準 偏差
課題10まで実施 した学習者	9人	37.7日	15.7
途中でドロップア ウトした学習者	16人	42.9日	30.2
未課題の学習者	9人	49.8日	30.2
合計	34名	43.3日	26.8



2 基幹コース学習者の学習日数

	対象者	平均学習 日数	標準偏差
基幹 コース	30名	42.0日	30.0

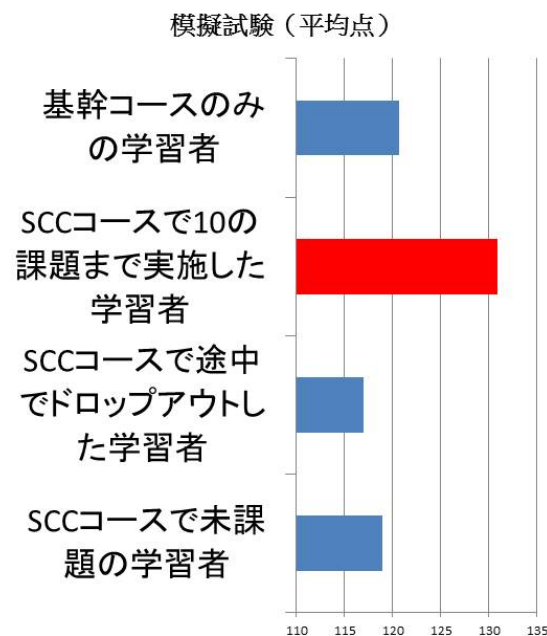


実施結果2 模擬試験結果

実地テスト結果 模擬試験

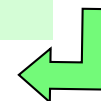
1 SCCコース学習者の模擬試験テスト結果

3カ月でコースを修了した学習者	対象者	模擬試験受者	平均点数	標準偏差
課題10まで実施した学習者	9人	9人	131点	10.7
途中でドロップアウトした学習者	16人	15人	117点	9.84
未課題の学習者	9人	6人	119点	16.3
合計	34人	30人	124点	11.9



2 基幹コースの学習者の模擬試験テスト結果

	対象者	平均点数	標準偏差
基幹コース	24名	120.7点	7.8

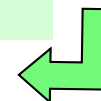


今後の課題

- 学習効果が出ている(模擬試験・学習日数)とデータがでていますが、これはもともと学習意欲の高い学習者がSCCをやっているからでないか？



やる気のある学習者を見極めるにはどうしたらよいのか？

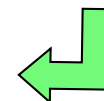


グローバル化への改善

- すべてのコンテンツを英語化した。
- 内容は、日本語版の海の家から会計システム導入案件に変更した。



現在、形勢的評価(少人数評価 20名)段階である。



グローバル化の問題点

- 少人数評価において
質問が多いことで講師の負担が高まるの
ではないかと懸念。

<参考>

日本:少人数評価対象者 10人

質問者 7名

(うち、講座内容について2名)

米国:少人数評価対象者 20人

質問者15名

(うち、講座内容について13名)



グローバル化のビジネス上の問題

【大きな課題になったもの】

人材があればほとんどの問題は解決するのでは



- LMSをどれにするか？
- 文化の問題
 - 海の家以外のテーマは何にするか？
- 決済の問題
 - 多くの日本のクレジットカード決済会社は海外決済に対応していない
- 法律の問題



発表の振り返り

以下、今回のJSETを振り返ります

- ・ 発表原稿の作成段階で自身の論文を読み直し、改善案等を考える良い機会になった。
- ・ 今回は座長をさせてもらったが、他の方の発表を質問を考えながら聞くことができた。
- ・ 外部の先生方に自身の研究を聞いていただき、ご指導などいただける貴重な機会であった。

